

報道関係者各位

2026 年 7 月 17 日

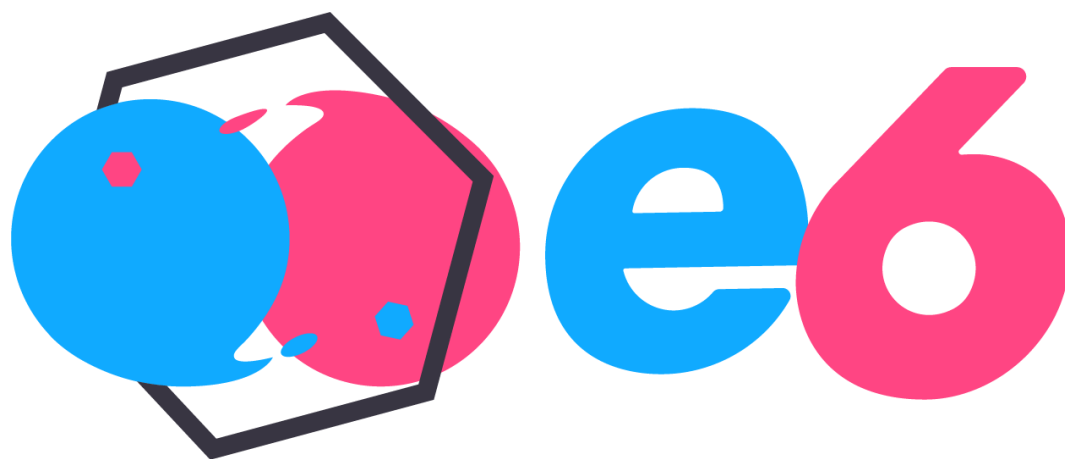
NTT 株式会社

株式会社 TBS ホールディングス

NTT と TBS、次世代エデュテインメント事業を推進する 共同出資会社「e6 合同会社」を設立へ

～「自分で決める力」を育むオリジナル IP と

AI を活用した多角的な体験コンテンツによる新市場の開拓へ～



NTT 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 社長執行役員 CEO：島田 明、以下「NTT」）と株式会社 TBS ホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：阿部 龍二郎、以下「TBS」）は、AI 時代の子どもたちが「自分で決める力」を育む次世代エデュテインメント事業を推進する共同出資会社「e6 合同会社」（以下「e6」）を、2026 年 8 月 8 日に設立する予定です。

e6 は、NTT と TBS が共同で推進してきた「e6 project」を事業化する新会社です。オリジナル IP「感情騎士 - エモーショナル・ナイト -」などの開発と、その世界観をリアルに楽しめる、AI を活用した体験型コンテンツを開発・展開し、さらに、デジタルゲーム、スマートフォンアプリ、トレーディングカードゲームなど、日常のあらゆるシーンに溶け込むコンテンツを創出していきます。テーマパークも視野に、子どもたちが夢中で遊びながら、自分の「好き」や「こうしたい」を選び取る原体験を社会に実装してまいります。

1. 背景と目的

生成 AI の普及により、子どもたちを取り巻く学びの環境は大きく変化しています。膨大な知識や無数の「もっともらしい答え」が瞬時に提示される時代の中で、子どもたちに真に求められるのは、単なる知識の蓄積ではなく、多くの情報や AI、人との対話を通じて、「自分はどうしたいのか」という感情を自覚し、自分で考え、主体的に選び、決める力です。

NTT と TBS は、こうした時代認識のもと、2026 年 2 月より「e6 project」を始動しました。本プロジェクトでは、AI を“学ぶ対象”として前面に出すのではなく、心を揺さぶる「物語」と「体験」を起点に、子どもたちが AI と共に悩み、表現し、自分で未来を選び取る体験の創出をめざしています。

これまでオリジナル IP「感情騎士 - エモーショナル・ナイト -」の開発と、その世界観を体験できるコンテンツの開発・実証を進めてきました。

今後、これらの取り組みを継続的かつ機動的に推進し、IP、AI・エンタメ体験、リアル拠点、クリエイター共創を一体で展開していくため、両社は共同出資により e6 合同会社を設立する予定です。

2. 事業概要

e6 は、「自分で決める力」を育む次世代エデュテインメント事業を推進します。

NTT グループが有する最先端技術（次世代情報通信基盤「IOWN」、NTT 版 LLM「tsuzumi 2」等）、研究開発力、社会実装力と、TBS グループが有するコンテンツ制作力、IP 開発力、メディア発信力を掛け合わせることで、テクノロジーとコンテンツが融合した新たなエデュテインメント市場の創出をめざします。

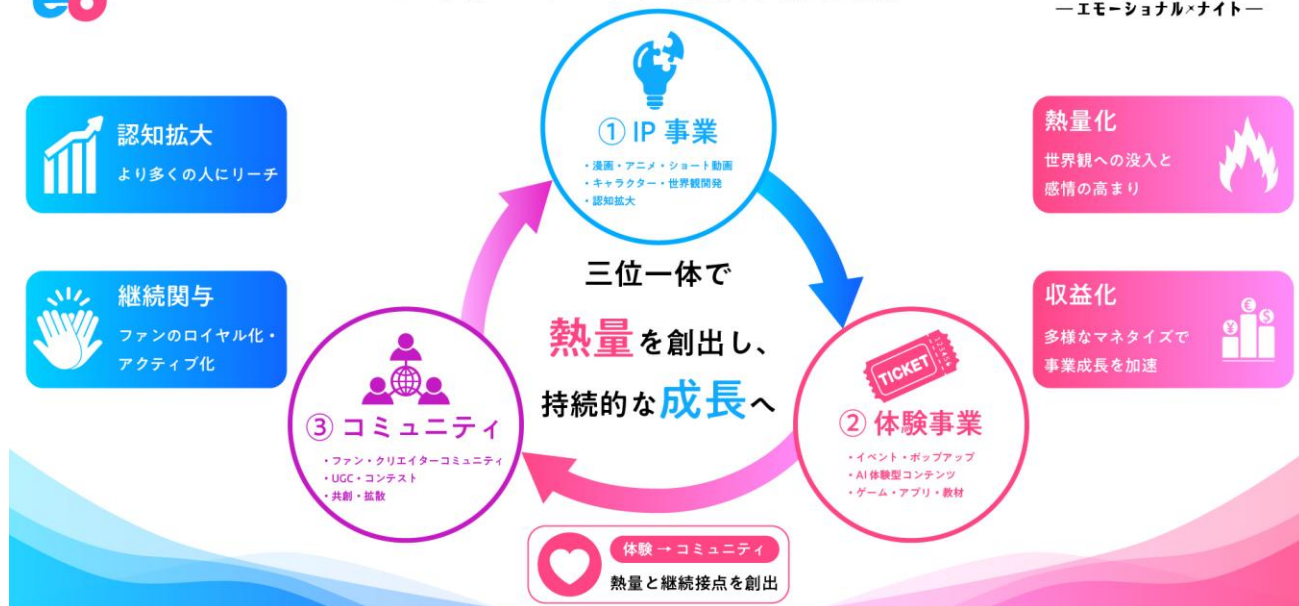
主な事業内容は以下の通りです。



e6 事業概要

IP・体験・コミュニティの循環で、熱量を価値へ

Emotional Knight
—エモーショナル・ナイト—



1. オリジナル IP の開発・展開

オリジナル IP「感情騎士 - エモーショナル・ナイト -」の世界観、キャラクター、物語を開発し、マンガ、アニメーション、映像など様々な形でのコンテンツ展開をめざします。子どもたちが物語への共感や没入を通じて、自分の感情や選択に自然と向き合える体験を届けるために、次世代エデュテインメントの中核となる独自 IP を創出します。



<第一弾 オリジナル IP「感情騎士 - エモーショナル・ナイト -」>

2. AI エデュテインメント体験を起点とした多面的コンテンツ開発・展開

「感情騎士 - エモーショナル・ナイト -」の世界観を軸に、リアルに体験できる AI アトラクションやインタラクティブコンテンツを開発し、イベント、商業施設、教育施設、自治体、企業連携等を通じて展

開するほか、インディゲーム、グッズ、さらにはライセンス展開など、子どもたちの日常に溶け込む接点をマルチに生み出し、「AI と共に、自分で決める」体験を、遊びの中に自然に組み込んでいきます。

3. ファン・クリエイターと共に IP を育てるコミュニティの構築・運営

ファンやクリエイターが継続的に参加・共創できるコミュニティを形成し、そこから生まれるアイデアやコンテンツを、e6 の多様なプロダクトや体験へと展開していきます。

また、コンテストや投稿企画、共創型イベント等を通じて、「IP 開発 → ユーザー共創（UGC） → ビジネス・プロダクト化 → ファンとクリエイターへの還元」という三位一体のサイクルを回すことで、ファン・クリエイター・事業者が共に育て、広げていく共創の仕組みを構築します。

3. 新会社の概要

項目	内容
会社名	e6 合同会社
英語表記	e6, LLC
所在地	〒107-0052 東京都港区赤坂 2-5-8 ヒューリック JP 赤坂ビル 6 階
設立日（予定）	2026 年 8 月 8 日
共同代表（予定）	鈴木 邦治、久我 雄三
出資比率	NTT 株式会社 50%、株式会社 TBS ホールディングス 50%
主な事業内容	1. オリジナル IP の開発・展開 2. AI エデュテインメント体験を起点とした多面的コンテンツ開発・展開 3. ファン・クリエイターと共に IP を育てるコミュニティの構築・運営
公式サイト	https://www.e6-project.com/

※新会社の概要は、設立時点の内容に応じて変更となる可能性があります。

4. これまでの取り組み

e6 project では、第一弾オリジナル IP 「感情騎士 - エモーショナル・ナイト -」を開発し、その世界観をリアルに体験できる 3 つのコンテンツを制作しました。

2026 年 3 月に開催された「AKASAKA あそび！学び！フェスタ® 2026」では、親子向けの体験実証を行い、約 1,000 人の子どもたちに体験いただきました。体験後アンケートにおける満足度は 91.2%となり、子どもたちが「遊び」を入口に、AI や物語と関わりながら自ら考え、選択する体験への高い関心を確認しました。



<「AKASAKA あそび！学び！フェスタ® 2026」での体験実証の様子>



<体験コンテンツ（左から「スイートキャッスル」「KENKEN BEAT」「黒渦騎士団からの挑戦状」）>

5. 今後の取り組み

e6 は、「感情騎士 - エモーションナル・ナイト -」の IP 開発を進めるとともに、AI を活用した体験型コンテンツの展開及びクリエイターが作品世界に参加できるコミュニティの構築を順次進めていきます。

年内を目途に、マンガやショートアニメなどのコンテンツ展開などを始動し、物語やキャラクターの魅力を発信することで、IP としての認知拡大を図ります。あわせて、AI コンテンツを体験いただける場の提供、ユーザー・クリエイターが参加できる共創コミュニティの構築を並行して進め、子どもたちが日常の中で AI と遊び、学び、自分で決める体験に出会える機会を広げていきます。

NTT と TBS は、e6 を通じて、子どもたちが夢中で遊びながら、自分の「好き」や「こうしたい」を選び取る原体験を創出し、AI 時代の新たなエデュテインメントの社会実装に取り組んでまいります。

6. 代表コメント

NTT 株式会社 代表取締役社長 社長執行役員 CEO 島田 明



AI が日常となる時代に、子どもたちに本当に必要なのは、知識の量だけではなく、多くの情報や AI と対話しながら「自分で考え、自分で決める」力だと考えています。

NTT が培ってきた AI 技術と社会実装力を、TBS グループのコンテンツ制作力、IP 開発力、メディア発信力と掛け合わせることで、これまでにないエデュテインメント体験を生み出せると期待しています。

e6 合同会社が、子どもたちが AI と共に遊び、学び、自らの可能性を広げていく場となるよう、NTT グループとしても力強く支援してまいります。

株式会社 TBS ホールディングス 代表取締役社長 阿部 龍二郎



TBS は創業以来、「分かりやすく伝える」ことを大切にしてきました。また私達の得意とするエンタテインメントには、人々の感性を呼び覚まし、無限の可能性を引き出す力があります。この二つが子どもたち一人ひとりの学びをより豊かにし、未来を切り拓く力を育むために重要な役割を果たすと考えています。この度、先進技術を活用し、新たな価値創造をリードする NTT 様と共に新たな教育体験を提供し、子どもたち一人ひとりの可能性が最大限に開花する未来の実現に挑戦してまいります。

7. e6 合同会社 共同代表コメント

鈴木 邦治 / 久我 雄三

私たちがめざすのは、子どもたちが“感情”と“意思”の大切さを「学ぶ」のではなく、「あそびの中で、いつの間にか気付いている」体験を生み出すことです。

NTT と TBS という異なる強みを持つ両社が垣根を越え、一つのチームとして、子どもたちが夢中になって自分の気持ちに気づき、自分の選択に誇りを持てるような機会を届けてまいります。

8. 本件に関するお問い合わせ先

NTT 株式会社

[プロジェクトに関するお問い合わせ]

e6 project 事務局 E-mail : e6project@ntt.com (担当：鈴木)

[報道機関からのお問い合わせ]

広報部門 E-mail : ntt-pr@ntt.com

TBS ホールディングス

エデュテインメント事業センター 学びネクスト事業部

電話：03-3746-1111 (代表)

e6 project 事務局 E-Mail : e6project-tbs@gr.tbs.co.jp (担当：久我・大塚)

※ニュースリリースに記載された情報は、発表日現在のものです。

※現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。